

# かしま 議会だより

第80号

平成27年3月議会号

平成27年4月発行

発行/鹿島市議会 編集/議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



桜越しの市庁舎

3月定例会日程と議案 ..... 2～ 3P

議案審議 ..... 4～ 5P

一般質問 ..... 6～10P

委員長報告 ..... 11～13P

議会あれこれ・議長交際費・編集後記…… 14P



鹿島市のイメージキャラクター  
かし丸くん



- (6) 議案第6号 平成27年度鹿島市給与管理特別会計予算について
  - (7) 議案第7号 平成27年度鹿島市水道事業会計予算について
  - (8) 議案第8号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
  - (9) 議案第9号 鹿島市保育所保育の実施に関する条例を廃止する条例について
  - (10) 議案第10号 鹿島市情報公開条例の一部を改正する条例について
  - (11) 議案第11号 鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例について
  - (12) 議案第12号 一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について
  - (13) 議案第13号 平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について
  - (14) 議案第14号 平成26年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について
  - (15) 議案第15号 平成26年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について
  - (16) 議案第16号 平成26年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
  - (17) 議案第17号 平成26年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第2号)について
  - (18) 議案第18号 鹿島市営土地改良事業(音成地区)の計画について
  - (19) 議案第19号 平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について
  - (20) 議案第20号 訴訟上の和解について
  - (21) 議案第21号 鹿島市副市長の選任について
- 議員提案議案等**
- 議員提案第1号 鹿島市議会委員会条例の一部を改正する条例について
  - 議員提案第2号 鹿島市議会情報公開条例の一部を改正する条例について

## 次のことを審議し決定しました

### 【3月定例会】

議案第1号	平成27年度鹿島市一般会計予算について
議案第2号	平成27年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について
議案第3号	平成27年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について
議案第4号	平成27年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
議案第5号	平成27年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
議案第6号	平成27年度鹿島市給与管理特別会計予算について
議案第7号	平成27年度鹿島市水道事業会計予算について
議案第8号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第9号	鹿島市保育所保育の実施に関する条例を廃止する条例について
議案第10号	鹿島市情報公開条例の一部を改正する条例について
議案第11号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例について
議案第12号	一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について
議案第13号	平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について
議案第14号	平成26年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について
議案第15号	平成26年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について
議案第16号	平成26年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について
議案第17号	平成26年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第2号)について
議案第18号	鹿島市営土地改良事業(音成地区)の計画について
議案第19号	平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について
議案第20号	訴訟上の和解について
議案第21号	鹿島市副市長の選任について
議員提案第1号	鹿島市議会委員会条例の一部を改正する条例について
議員提案第2号	鹿島市議会情報公開条例の一部を改正する条例について

# 議案審議

議案第1号

## 平成27年度 鹿島市一般会計予算について



橋爪 敏 議員

### 農林水産業の振興について

質問一 農林水産業費が、11億5千8百万円と前年度より3億円増額されているがその内容は。また、昨年はみかんが大暴落し過去最低の価格となった



稲富 雅和 議員

### 新年度予算への市長の思いは

質問一 一般会計当初予算は、最高額の148億円と予算計上されていて五次総合計画の実現型最終年度である。市長は何を思い、何を指示してこの予算を立てたのか理念をお聞きしたい。  
答弁一 大型投資で額が大きくなった。

が、政策としてみかん対策は。

答弁一 新規事業として玉ねぎ選果機導入や圃場整備事業を行うため大幅な増額となっている。みかん対策は品種構成の見直しや消費者が求める高糖度みかん栽培のため根域制限高畝栽培への補助を今年度から実施している。また、首都圏営業本部に職員を派遣し、J A 東京事務所や市場、仲卸業者と連携しスーパー等への売り込みも行っている。

額を大きくするのが狙いではなく五次総を可能な限り果たすのが狙い。予算編成で考える事があり、バランスを考えないといけない。緊急度合い、それから財政力として大丈夫なのか、そう言うのを見ながら必要なのに手当てを入れた。  
老朽化している施設を早めに手当てをしないといけないと思っている。

### 平成27年度一般会計予算(目的別)

予算額 148億3千500万円		
1	議会費	1億6690万5千円
2	総務費	12億7017万4千円
3	民生費	47億4586万6千円
4	衛生費	9億1060万8千円
5	労働費	6233万8千円
6	農林水産業費	11億5802万1千円
7	商工費	2億6850万9千円
8	土木費	13億1903万7千円
9	消防費	24億8091万3千円
10	教育費	14億4531万5千円
11	災害復旧費	2万5千円
12	公債費	9億5477千円
13	諸支出金	751万9千円
14	予備費	4500千円



徳村 博紀 議員

### 子供たちの安全対策について

質問一 浜地区で包丁をもった迷彩服姿の男がいるとの不審者情報が寄せられた。教育委員会、学校、保護者と連携していると思うが、保護者にメ

ールで届いた時間が遅く、危機管理の面から問題があるのではないかと思われる。教育委員会ならびに市役所内部のマニユアルはどうなっているのか？また特別委員会までにマニユアル提出をお願いしたい。

答弁一 情報があつた近くの学校から教育委員会・市内各学校・保護者という連絡手順になっている。その中で時間がかかった。庁内各課・各学

校にも連絡はしたが、ふだんからマニユアルを作成し、それに従って行動することが大切だと思う。マニユアルは特別委員会までに提出する。



議案 審議

議案第8号

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について



勝屋 弘貞 議員

質問一 教育委員会の定数増員という考えは？

質問二 首長が教育に関する「大綱」を策定するようになっているが、ど

答弁一 法の規定は5人。条例で定めた場合はそうではないが、5人で不都合はなかったと考える。

のようなものか？いつまでに作るのか？

答弁二 一年一度発行する事業概要やデータを掲載した「鹿島市の教育」とは違い、教育振興計画みたいなもの。教育基本法第17条を参酌し、鹿島市の総合計画とリンクさせながら策定する。新たに設置する「総合教育会議」の開催も含め、早い時期にと考える。

議案第13号

平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について

辺地対策事業(中川内く広平線)の減額補正



角田 一美 議員

質問一 保安林指定解除

手続きの遅れで予算の減額補正がなされているが、工事着手の見込みと今後の計画はどうなっているのか。

答弁一 今年度保安林指定解除申請用の図面作製委託中であり新年度早々

に申請し、許可まで6月～1年要する。新年度から用地買収、補償に取りかかり、新設橋梁の橋脚基礎工事に着手する予定である。事業費ベースで、約1年半程度遅れている。

議案第19号

平成26年度 鹿島市一般会計補正予算(第7号)

生活緊急支援対策について



松尾 征子 議員

質問一 「地域住民生活等緊急支援のための交付金」として国が決めた事だが、今回提案されている以外にどのような問題が提案されたのか。

答弁一 住宅リフォーム制度・障がい者支援・出産費・雇用など提案された。

質問二 事業の趣旨から言えば、提案

された問題の取り組みが市民は喜んだでしょうし、生活支援になったでしょう。今回計画されているのは、商品券をのぞけば、具体的な計画もなくどの時点で成果が出るかわからない。大きな成果が出るかもわからないが、まったくでないことも考えられる。せつかくの「生活緊急支援対策」、多くの市民が良かったといえるような取り組みが必要だった。

水産業振興費について



松本 末治 議員

質問一 風味豊かな鹿島産水産物「バラ干し海苔」PR活動事業費50万円は、少なすぎないか？諫早干拓開門が元凶であり佐賀地裁は24日、開門するまで制裁金を、一日90万円に引き上げる決定をした。これからすれば一日分もない。冷凍海苔が窮地の漁場は大変な事

態である。

答弁一 出来た海苔の活用策で付加価値をつけた対策、諫早問題は、先行きがわからない。有明海々況調査の研究所の設立も視野に入れた対策も必要になる。

一般質問

# 一般質問

## 地方創生へ鹿島市の対応



福井 正議員

### 鹿島市の地方創生への取り組み

**質問一** 義務教育の期間に基礎的理解力や公正な判断力を養い心身共に健康やかに有意義にすごして欲しいと念じています。しかし、自分の意思で登校出来ない子供と親への配慮や心理相談は十分なのか。進学時など環境が変わる時期が増える不登校児を防ぐための小中学校への指導は行なわれているか。

**答弁一** 学校と家庭が連携し教育相談や家庭訪問、学習指導を行なっている。心理相談員や学習指導員を増員し小中学校に配置している。保護者への居場所づくりとして親の会を設置し相談を受けている。小中連絡会議で防止対策の強化を図っている。

**質問二** 秋口に出荷された早生みかんの（日焼け）被害は700t以上、秋芽のりの（赤腐れ病）被害拡大は深刻で例年の3〜4割程度の販売額である。本市の支援策と一次産業への農業労働力支援、浜川河口の堆積した中洲除去の漁場環境整備の進捗状況は。

**答弁二** 現時点では果樹共済、漁業共済での補填

となる。本市独自の支援は状況を見極め今後検討を行なう。地域人材育成事業、鹿島アグリヘルパー事業は好評であり来年も継続する。浜川河口の中洲除去は県の調査が行なわれ協議中である。

### 介護保険制度改革が鹿島市に及ぼす影響

**質問三** 平成27年度から介護保険制度の要支援1及び2の一部が市町村に移管される。介護施設側も経営面で不安があると思うがどうか。要支援1・2を受けている方々の不安もあるがどうか。鹿島市での取り組みは

**答弁三** 平成27年度に杵藤広域足並みそろえて対応する。介護職員不足等には今後の推移を見ていく。NPO法人などの協力を得て対応する。



みちしるべ開発商品

## 市民の生命と暮らしを守る福祉優先の市政を



松尾 征子議員

**質問一** 市民の暮らしはますます厳しくなっている。国の福祉切捨てはますます厳しくなっていく。鹿島市は、何はさておいても、鹿島市に住めば子供が安心して育てられる。お年寄りが安心して老後を暮らせるような鹿島市を作ることに、とくに市の人口は減少していくばかりです。そのためにも少子化対策など必要です。

**答弁一** 福祉といわれるが、政策には予算が必要。予算編成のポイントには①バランス②タイミシング③カネを伴うので財源の見通し、さらに近隣市町村の動き、市民の皆さんのご意見の動向。鹿島の予算は福祉の町に達している。佐賀県の中では最も高い。

これ以上やれば原資を稼がなくてはいけない。

**質問二** よそより民生費が高いといわれるが多かったのは、設備費が多かったからだ、バランスがポイントというが、市民の暮らしの状況のバランスが先だ。生きたい子供も生めない。など市民の声を知っているのか、少子化対策とこれまで何度も叫ばれてきたがことばだけでは解決できない。これまでの証明している。大型のハコモノをとめてでも、子供やお母さんのために取り組むことがこれからの鹿島市には必要だ。市長の考えは事務的過ぎる。

**質問三** 2子以降の保育料を無料にするには、いくらかかるか。

**答弁三** 4000万円

**質問四** 4000万円あれば出来るということ、市長のお考えは。

**答弁四** 27年度の予算で148億円のなかの4000万円がどんなシェアかお分かりだと思ふ。

**質問五** モリナガ周辺の道路の改修の取りくみを

**答弁五** 来年度から調査総合計画を取りくむ。

**まとめ** 農林事務所などいつまで居るかわからない県の機関や、必要のない水道課の移転などに15億円もの無駄な金が使われようとしている。これらを見直して取り組めば子供たちのための4000万円出てくる。



かわ・まち・つばし・地域創生について：パート3



中西 裕司議員

質問一 国では実施本部が設立され石破大臣が本部長となる。地方の人口減少や東京一極集中の社会的背景を受け「地方のあり方」を政治課題とする。従来の各省庁のタテ型の政策立案ではなくヨコ型に変更して「地方創生」の枠組で関係省庁がテーマ別に協議立案する。地方が知恵を出して地方の魅力を創る政策立案能力が問われる。国県では実施本部が設置され地方でもその対策を協議して自らの町づくりを始めていく。第6次総合計画との整合性をどう計るのか知恵をだそう。

備段階もあり庁内や各種団体との意見交換等協議中。市民の意見を反映する中で知恵を出す。庁内に検討委員会を設置する

質問二 ひと。人口減少の中で子育て支援の環境づくりが大切。国の制度変更により市内の保育環境に変化は。病後児保育や延長保育の制度保障は定住促進にも。放課後児童クラブは。

答弁二 保育園等受け入れ体制は充分。希望者全員が入園。環境づくりは大切なので対策は行う。

質問三 まち。駅前開発等の準備は必要だが長崎本線をわが町の鉄道としてどう活かすかの研究議論がまず必要だ。駅舎や広場の規模はそれから。

答弁三 現在トイレの改修を施工中。バリアフリー化等は済んでいる。今後市民を含めワークショップ方式で議論をする。

一般質問

質問四 しごと。「道の駅鹿島」の将来国交省の指定を受け再生が始まる。干潟体験、農業体験等先人の努力に感謝。有明海の観察など現在別の視点で。研究所。製造業以外の本社機能の誘致は。ソフト事業。

答弁四 国交省の指定を受け今以上の活動を。企業誘致のあり方を再考する。

まとめ 「知恵くらべ」に負けないよう市民総参加で。



道路行政・交通安全対策について



角田 一美議員

質問一 207号バイパス4車線化で市道馬渡・辻線交差点や南川交差点での出入り口が狭く、変形のため危険である。バイパスに接続する市道の改良・離合場所の整備が必要ではないのか。

答弁一 4車線化は平成29年度供用開始される予定であり歩行者や車の流れ、交差点の利用状況、交通量を見極めながら地元と協議のうえ局部改良等出来ることから計画的に進めてまいりたい。

質問二 通学路で歩道設置要望が強い中浅浦地区、横田地区の今後の整備見直しはいつか。

答弁二 中浅浦地区は事業化に向けた調査に間もなく着手される予定である。

る。横田地区については事業に向けた調査を来年度から着手される予定である。

質問三 通学路で横断歩道用白線、一時停止線が消えている箇所が目立つ。定期的な安全パトロールの実施で早めの対策がとれないか。

答弁三 所管は県警公安委員会となっており、安全パトロールで気づいた場所は警察に報告してより優先順位により順次実施して頂いている。

**介護予防の地域ケア体制の推進について**

質問四 介護予防運動教室受講者が運動を継続できるよう自主運動サークルを育成・支援すべきではないか。

答弁四 運動教室受講者が各地域で指導者となつて公民館単位で自主活動できるようサークルの立



ち上げや会場の確保、情報の提供等に取り組み、継続的に活動できるように支援していきたい。

質問五 独居老人の鍵預かり制度導入についての検討状況はどうか。

答弁五 事業が24時間体制のため、鍵をどこで預かるのか実施主体についてまだ解決できていない。緊急通報装置と合わせて実施できないか研究してまいりたい。

一般質問

地方創生について



中村 一彦 議員

**質問一** 今からの時代は市外や県外、海外からだけではのヒト、シゴト、モノを持つてこれるか。これがまさに、地方創生です。人口が減少していく時代にどう向き合うのか。何ができるのかを私たちは考えなければなりません。巷では、「地方消滅」と一方的に、声高に叫ばれる地域、この地方鹿島市をどのようにして盛り立てていくと考えられているのでしょうか。

今、国から示されている実施施策では人口問題の解決に向けて若い世代の就労や結婚、子育ての希望を実現すること。そして、地域の特性に即した地域課題を解決することが人口問題の解決につ

ながるとされていますが、地方創生に取り組み鹿島市の姿勢は国が進める地方創生の実施計画と同じ方向とかがえていいのでしょうか？鹿島市はこれから数年間でいわゆるハード事業の大型公共事業を続々と計画されていますが、国の進めるソフト事業の地方創生の計画とは少しずれていると私は考えていますが、どうお考えでしょうか？

**答弁一** 近隣の市町と比べて周回遅れの中、鹿島市は緊縮財政で非常に頑張ってきた。それゆえに、公共施設の老朽化がかなり進んできた。国が現在進めているのは、中村議員が仰る通りソフト事業である地方創生だが、鹿島市ではまず公共施設を整備して周回遅れを取り戻していくというのがニューディール構想。これが上手くいけば、近隣市町と肩

を並べることができ。その上で、ソフト事業である地方創生に力を入れていく。

鹿島市は、一人当たりの借金である市債が他市町村に比べると非常に少ない。

税収や基金、市債のバランスを考えながら運営していく。



新世紀センター予定地

地方創生・新世紀センター



水頭 喜弘 議員

これからの下水道・浄化槽は

**質問一** これまで一貫して公共下水道より設置価格が安く、手軽に推進できる浄化槽の推進を訴えてきました。東日本大震災でも証明された通り個別に分散している浄化槽が災害に強いとされています。鹿島市は浄化槽設置に補助金を出して平成23年度から5年間で300基を目標に推進されているが平均的な金額7人層でどれくらいかかるのか。また下水道の1宅地あたりの受益者負担は。

**答弁一** 家屋にたぐり配管等を除いて58万6千円程度で下水道は約60坪の

敷地約12万2千円で差額が46万4千円生まれるから市単独補助の増額（個人負担の軽減60%を25%）対象は家庭用から事業所まで拡大し51人層まで拡大等考えている。

**質問二** 公共下水道と合併浄化槽の差がなるべくないようにお願いしたい。またこの制度はいつ頃から行っていくのか。

**答弁二** 現在公共下水道等の見直しの途中で、27年度中には計画が出来上がりお知らせしたい。

**質問三** 今回20年度越しの懸案だった合特法に基づき合理化計画が策定され、調印に至ったことについて感謝申し上げたい。議会においても何回となく要望してきましたが、その内容は。

**答弁三** 本市における公共下水道の接続によりし尿・浄化槽汚泥の処理量の減少が見込まれるため、処理業者がし尿・浄化槽

汚泥の安定処理を行うため代替業務の提供を行うとともに、業者の自助努力による経営安定化を目標として本計画が策定された。内容としては、鹿島市汚水浄化センター等運転業務管理などである。

**防災情報伝達システムの整備について**

**質問四** 防災情報伝達システム手段として、屋外スピーカーに加え市内の1万世帯を対象に「CATV屋内放送システム」が27年～28年度の2カ年間で実施されるが屋内放送について市民の負担は。

**答弁四** 月々の使用料や修理費の個人負担は原則として求めない。



浄化センター

子育て世代が住みたいと思うまちづくり



稲富 雅和議員

質問一 国による「地方創生」や「まち・ひと・しごと総合戦略」が打ち出されたことが一つの引き金になったのか。子育て支援や定住促進の政策として「給食費の無料化」や「出産祝い金」、「入学祝い金」の創設や増額などほかの自治体が打ち出した政策について樋口市長の率直な感想などズバリ聞きたい。

答弁一 町の価値観がありどうしたら住みたくなるか、祝金等は家計としてありがたい。しかしそれで決めるのは、問題が残る。親は忙しい。町の姿、様子、まちの在り方いろいろあるが、3つに整理した。一番目の関心は便利な町に住みたい。

か。  
答弁二 軽量野菜は、高齢化が進んでいるので見直されている時期。荒廃園の生かし方等考えながら、軽量野菜の、試験をしているのか調査しているのか調査して作付けしても売り方等J Aと連携している。今は問い合わせ等が来ているもっと検討して進めて行きたい。

2つ目が安全な町、3つ目が、子供たちの将来を考えて、住まいを決めた、どれがいいのか、町の事情があり比較できない。判断基準はたくさんある。目くばりをしながら、みんなで意見を言うことが大事である。

女子高生がふるさと教育をしてほしいと言っていた。この町に帰って来たい、この町に興味をもってもらうこの町に生まれ、この町に帰ってくる、この町のよさを教える事を見直すことが大事である。女子高生の視点で言われるとそう思った。

今後の展開について

質問二 一次産業はこれまで地域経済を支え鹿島市の人口を維持するなどにまさに市の基幹産業であります。今後の展開について、軽量野菜を使っているの収益UPを図れないの



市民の安全・安心・財産を守る消防団



勝屋 弘貞議員

消防団員数の地域格差は正について

質問一 消防団員数について。人口が街部に集中する中、昔ながらの面積割で決まっているために地域格差がある。消防団は地域のコミュニティという側面もあるし、難しいだろうが、面積割・人口割を併用するなど、定員数を含め見直すべきではないか。

答弁一 分団別に団員数を人口割で考えたとき、平均で41人に1人。高いところは七浦分団が16人に1人、低いところの鹿島分団は200人に1人という格差がある。永い伝統もあり一概に人口割とは出来ないし、地元の

答弁三 E Mは閉鎖された部分、限られた空間・条件・地域といったところが良い結果が得られている。有明海の場合は潮の満ち引きや広さを考えたら疑問視する。海苔不作の原因も様々言われている中、EM効果が確認されているかどうか、データ的には証明されていないEMを使用して果たして結果が得られるかと考える。水産センターにおいては否定的な考えが多い。

要望や考え方を重要視しなければならぬ。消防団の中にも不均衡は放置できないレベルに達している、見直さなければならぬという認識はあるようだ。鹿島分団については4部から6部に分けるとい議論が始まったところである。

質問二 機能力消防団制度にOB分団という考えがあるが、鹿島市で取り入れるという考えは？

答弁二 今後、団員確保は厳しくなると考える。1割ほどOBで活用する構想がある。訓練等への参加、報酬、指揮命令系統をどうするかなど難しい点もある。重機オペレーターといった専門技能を持たれた方をまずは活用できないかと考えている。

質問三 有機微生物群EMについては賛否両論あるが、有明海再生での利用は？



一般質問

夢のある鹿島市の産業整備



松本 末治 議員

一次産業の将来性

**質問一** 平成26年度青果物販売は玉葱前年比162%、露地ナス141%、アスパラ104%と野菜類。果樹類で主力の温州ミカン75%（数量105%）、晩柑類は数量・金額とも103%で、主力の温州ミカンが75%は大きな痛手になる。今後鹿島市行政としての「みちしるべ」をお伺いする。

**答弁一** みかん農家の経営は大変厳しい状況であるが、経営安定に取り組んでいく必要がある。「マルチ栽培や根域制限栽培」の導入促進については、市独自の助成も行っている。又、果実加工品の生産販売など6次産業化や

複合経営も進めたい。

漁業・海苔産業の今後の対策について

**質問二** 平成26年産海苔共販実績は、市全体で見ると、久保田、芦刈の70%である。鹿島を第一第二第三と支所ごとに見ると、鹿島第三支所は、第一第二の70%である。この原因は、秋芽網では差はなく、冷凍網張り込み期間の、有明海海況の異常変化によるとのことだが原因は何か？

**答弁二** 原因はハッキリしていないが、諫早湾調整池排出一日100万トンもある。カモの大群被害もある。27年から海底耕耘を三ヶ年間実施する。

祐徳門前商店街の活性及びピオを中心とした商店街の活性化について

**質問三** 祐徳稲荷神社参

拝客は年間三百万人。門前商店街のアーケードが壊れている箇所がある。対応は考えられているか？又、ピオから駅前まで130店舗の活性化策？

**答弁三** 門前商店街アーケード改修については、昭和40年建設で、今後、道路、水路を併せて事業実施の計画です。鹿島中心商店街は、毎月15日「鹿島15の市」、カシママルシェ、意識向上の為、自営支援セミナー等実施している。



4年間ありがとうございました

**議案第1号 平成27年度一般会計予算**

**【新年度予算審査特別委員会審査報告】**

平成27年3月5日の本会議において付託されました、議案第1号「平成27年度鹿島市一般会計予算について」、議案第2号「平成27年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について」、議案第3号「平成27年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について」、議案第4号「平成27年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について」、議案第5号「平成27年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について」、議案第6号「平成27年度鹿島市給与管理特別会計予算について」、及び議案第7号「平成27年度鹿島市水道事業会計予算について」の7議案については、3月10日に現地調査を、11日、12日、13日、16日、17日に審査を計6日間にわたり特別委員会を開き、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。以上、会議規則第98条の規定により報告します。

新年度予算審査特別委員会 委員長 中西 裕司  
副委員長 竹下 勇

**平成27年度一般会計予算認定の委員長報告に反対する討論**

松尾 征子

27年度予算は、一般会計総額148億3500万円。これは26年度肉付け予算から880272千円前年対比6・3パーセントの増となっています。それに対して収入を見れば市税の減額をはじめ地方交付税など国から入る予算もすべて減額、そのための財源不足を補うために財政基金と公共施設建設基金を切り崩す。その額約12億円。借金も歳入に占める依存度が高くなっている。ちなみに、今年度27年度末の借金残高が105億7642円になると見込まれている。ということは鹿島市民がお年寄りから赤ちゃんまで35万円の借金を抱えることとなります。4人家族だと1世帯あたり140万円の借金を抱えることになるのです。そしてその原因は大型投資事業に原因があることは当初予算の概要説明にも書かれています。鹿島市はこれから人口が減少していくことは統計的にも明らかです。このようになれば税の減収は明らかですし人口減により国から入るお金も少なくなります。逆に借金払いは、つづけなくてはいいない。市は交付税などで帰ってくるといいますますが確実に当初言われただけの金額が戻るという保障はありません。借金はちゃんと返すということになれば、借金も市民の税金です。

**平成27年度一般会計予算認定の委員長報告に賛成する討論**

福井 正

委員長報告に、賛成の立場で討論いたします。

27年度当初予算の総額は、148億3千5百万円っており、これまでで最高額となっています。これは新世紀センターいわゆる防災センター建設や防災行政無線や防災戸別受信機の各戸配付などの防災への対処、県の農林事務所や土木事務所の連絡所配置、水道課・環境下水道課、消防団本部機能の移転など災害に一元化した対処ができる施設であります。また産業活性化の施策として、「みちしるべ」を使った製品開発や六次産業化への取り組みは一次産業だけでなく、二次・三次産業も併せた、農商工連携で経済活性化する取り組みであります。また老朽化した小中学校改築事業への取り組みなどは鹿島市民にとって必要な事業であります。放課後児童クラブの拡充や子育て支援センター運営など、子育てに配慮した事業であり、民生費に当初予算の32%あてるなど住民福祉に配慮した予算であります。このように大型事業などで148億になった予算であります。市民にとって必要な予算であり、経済活性化に寄与する予算だと思ひ、委員長報告に賛成いたします。

**討論採決の結果賛成多数で可決しました**

## 鹿島ニューディール構想調査特別委員会

鹿島ニューディール構想が発表され調査、研究をするために25年3月特別委員会が設置された。その目的は、①委員会は14名の議員をもって構成する。②議会は市民の負託に応える責任を重く受け「鹿島ニューディール構想」全ての計画について全議員による早急な調査・研究議論を深め、調査におけるチェック機能の強化を図るために、鹿島ニューディール構想に関する諸問題の調査、研究を付託する。③鹿島ニューディール特別委員会は、議会の閉会中も議会が調査終了するまで継続して調査、研究をするものとする。

設置以来、14回の委員会を開催した。特に鹿島ショッピングセンター再整備事業については資料の提供を求め8回にわたって委員会を開催した。数々の問題点の指摘もあった。十分な論議が重ねられた。25年6月議会で関連補正予算、9月議会では「財産の取得」の議案、26年9月議会では「鹿島市民交流プラザ条例」を可決した。26年11月かたらいオープン後の利用状況についての調査審議を行い、市民の利便性、使い勝手の良さなど課題は残されている。

新世紀センター、市民会館建設問題、駅前トイレ、駅前周辺整備などについても調査・審議をつづけている。重要事業今後も議会としてのチェック機能を果たしていく。佐賀市エスプラッツはじめ3回の視察研修を行った。視察の取り組みは調査・研究をすすめるなかで充分役立つものになった。ニューディール構想は取り組んで来た以外にも大きな課題が残されている。これらの問題については、再選後の新体制で判断されていくことになる。

委員長 松尾 征子  
副委員長 光武 学



市民交流プラザ(ピオ内)



鹿島駅トイレ



新世紀センター予定地

## 【杵藤地区広域市町村圏組合議会 2月定例会報告】

杵藤地区広域市町村圏組合議会の平成27年度予算等について報告いたします。

組合の運営費負担金は、総務費、電算センター費、介護保険費、ごみ処理センター費など総額で57億93万2千円となっています。その内、鹿島市の負担額は9億8098万5千円で、前年度より1784万1千円増加します。

また、第6期介護保険事業計画の策定に伴い平成27年度から平成29年度までの保険料が引き上げられます。背景には今後介護保険の認定者が増えること、財政調整基金を取り崩して運営してきましたがその基金がなくなったためです。今回の改正で介護保険料基準額は月額1084円上がって5986円になります。

杵藤クリーンセンターは今年12月まで運営され、来年1月からは佐賀県西部広域環境組合へ移ります。跡地利用については今後検討されます。

杵藤市町村圏広域議会議員 福井 正  
松尾 勝利

## 【佐賀県西部環境組合議会からの報告】

伊万里市松浦町に建設中の佐賀県西部広域環境組合一般廃棄物処理施設(ごみ処理施設)建設工事が、平成27年7月に完成、試運転を経て平成28年1月1日より供用開始となりますので平成19年～27年の事業費を報告します。(但し19年～25年は決算額、26年～27年は予算額)構成市町(伊万里市 武雄市 鹿島市 嬉野市 有田町 大町町 江北町 白石町 太良町)

佐賀県西部環境組合議会議員 中西 裕司  
光武 学

歳出	千円	負担金内訳	千円
議会費	4,365	伊万里市	758,234
総務費	251,044	武雄市	664,362
事業費	17,990,300	鹿島市	418,429
内訳		嬉野市	397,426
国庫支出金	4,307,283	有田町	306,012
地方債	10,525,600	大町町	130,650
その他	73,867	江北町	156,349
一般財源	3,084,050	白石町	357,602
予備費	11,000	太良町	162,647
合計	18,257,209		



## 【佐賀県後期高齢者医療広域連合議会 2月定例会報告】

去る2月6日に定例議会が開催され、平成27年度一般会計及び後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算(案)、後期高齢者医療制度臨時特例基金条例の一部を改正する条例(案)等が全会一致で可決決定された。

特別会計歳入歳出予算総額は、1,212億4,253万6千円、前年度比25億3,770万円(2.1%増)。

平均被保険者数は11万9,700人(1.05%)、1人当たり医療給付費99万6千円(1.22%)を見込み、医療給付費総額、1,192億6,019万1千円を計上。

医療費の適正化について、ジェネリック医薬品の普及促進を図るため全被保険者に希望シールを配付。医療費差額通知を通知対象者の範囲を拡大。重複・頻回受診者についてはレセプト情報から抽出し、保健師が直接訪問指導されることになった。

佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議員 角田 一美

# 議会あれこれ

(平成27年1月～3月)

## 1月

- 13日 議会だより編集委員会  
鹿島市農業再生協議会臨時総会
- 21日 杵藤地区広域市町村圏組合議会1月臨時会
- 22日 議会だより編集委員会
- 23日 佐賀県市議会議長会
- 29日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会議案勉強会

## 2月

- 6日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会
- 12日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会
- 16日 議会運営委員会
- 19日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会  
議案勉強会
- 20日 全員協議会  
総務建設環境委員協議会  
文教厚生産業委員協議会
- 23日 鹿島・藤津地区衛生施設組合議会2月定例会
- 25日 佐賀県西部広域環境組合議会第1回定例会
- 27日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会  
議会運営委員会

## 3月

- 2日 平成27年3月定例会 開会(～26日まで)  
全員協議会
- 4日 3月定例会 議案審議・討論・採決(～5日まで)
- 5日 全員協議会

## 3月

- 10日 新年度予算審査特別委員会(～17日まで)
- 19日 3月定例会 一般質問(～23日まで)
- 23日 議会運営委員会
- 26日 3月定例会 委員長報告・議案審議・討論・採決・閉会  
全員協議会
- 27日 杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会閉会  
議会だより編集委員会

## 行政視察受入状況 (平成27年1月～3月)

1月 21日 宮城県名取市議会行政視察

1月 22日 石川県加賀市議会行政視察

1月 29日 千葉県袖ヶ浦市議会行政視察

2月 3日 山梨県韮崎市議会行政視察

3月 18日 埼玉県北本市議会行政視察

## 議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	1月		2月		3月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰					1	15,000	1	15,000
見舞い								
祝儀								
会費	6	26,000	3	13,000	3	12,000	12	51,000
接遇								
その他								
合計	6	26,000	3	13,000	4	27,000	13	66,000

## 編集後記

出会いと別れの季節を迎え、私たち16名の現議員もまもなく4年の任期が満了となります。私たちは、「開かれた議会」をめざし議会の動きを、議会報告会や議会だよりを通じてお伝えしようと努力してきました。16名の議員が1年交代で編集をおこなってきましたが、80号をもちまして現議員での編集を終えることとなります。以前より読みやすく興味深いものになっていましたら幸いです。ご愛読に感謝！

### 【編集委員】

委員長 竹下 勇  
副委員長 中村和典  
委員 松尾征子  
委員 中西裕司  
顧問 松本末治

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。

